

エコアクション21
平成31年1月10日発行

環境活動レポート2018

対象期間：平成29年10月1日～平成30年9月30日



株式会社 ジェイ・ポート

〒538-0041 大阪市鶴見区今津北3丁目3番13号

電話 06-6963-5351 / FAX 06-6963-5338

* 登録・認証範囲：全社・全事業 *

株式会社ジェイ・ポート

環境活動レポート目次



P.1	環境理念
	環境方針
P.2～4	登録事業所の概要
P.5	環境目標
P.6	環境経営システム組織図
P.7	環境関連法規等の遵守状況
P.8	環境目標とその実績と評価
P.9	平成30年度EA21関連記録

環境理念

私達に関わる産業廃棄物業界においては、不法投棄、有害物質の発生、大気汚染、自然破壊といったネガティブなイメージが先行している一面が少なくないかもしれません。

ある意味それは当業界の業務が環境に多大な影響を与えることを示しており、今後、我々は人・社会・自然など地球のすべてのものと共生することを考えた上で環境保全活動に率先して取り組まなければならない責務を負っているとと言えます。

同時にその影響力をもって、我々の地道な業務の積み重ねにより世の中をいい方向に変えられるという気概を社員一人一人が持ち続けたいと考えます。

これまで私達が不自由なく享受してきた水・大地・空気といったかけがえのない地球の財産を次世代に美しい状態で引き渡すため、ひいては経済発展(エコノミー)と環境保全(エコロジー)が両立できる持続可能な社会を創り出すため、その社会的責任を自覚し、社員一丸となり環境活動に取り組んで参ります。

環境方針

- 1 私達は、大量消費社会から循環型社会への転換を図るべく以下の環境方針に沿って、環境保全活動に取り組めます。
環境関連法令と当社が承認した協定等を遵守し、産業廃棄物の適正処理を行います。
- 2 省エネルギー、省資源、再資源化、グリーン購入に配慮した事業活動を展開します。
また、電気使用量、燃料使用量、ゴミの排出量等の数値を把握し削減目標及び再資源化(リサイクル率)向上を目指し目標達成できるよう社内全体で努めます。
- 3 社内での意識を高める為、社員への環境教育、啓蒙活動を行います。
- 4 社外に対し、環境活動レポートを公表し、当社で行う環境保全活動を紹介し環境に関する情報を提供します。
- 5 地域に根ざした企業として住民の皆様の要望に耳を傾け、協力し環境コミュニケーションを大切にしていきます。

制定日 2008年10月1日

株式会社 ジェイ・ポート

代表取締役 樋下 茂

登録事業所の概要



1 事業所名及び代表者名	
名称	株式会社 ジェイ・ポート
代表取締役	樋下 茂
設立	平成8年8月2日
事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日
資本金	資本金 1,300万円

2 所在地			
本社		第2工場	
			
大阪市鶴見区今津北3丁目3番13号		大阪市鶴見区今津北3丁目2番10号	
床面積	423.80㎡	床面積	326.75㎡
敷地面積	438.90㎡	敷地面積	339.90㎡
駐車場面積	202.00㎡		

※第2工場は道路を隔て隣接しており同一管理者の下で運営していますので同一サイトとして管理しております。

此花リサイクル工場	
	
大阪市此花区梅町2丁目3番55号	
床面積	330㎡
敷地面積	2,951㎡

此花工場では、産業廃棄物を資源として破碎を行い、リサイクル原料化を行っています

* 平成28年10月設備運用

3 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先			
責任者	代表取締役 樋下 茂	連絡先	06-6963-5351
担当者	樋下 香織	連絡先	06-6963-5351
ホームページURL	http://www.j-port.co.jp		
メールアドレス	info@j-port.co.jp		

4 認証・登録範囲	
産業廃棄物収集運搬業・特別管理産業廃棄物収集運搬業(積替え保管あり)	
産業廃棄物処分量	
道具商	
金属くず商	

5 廃棄物処理料金	
個別見積りとなりますので、お電話等でお問い合わせください	

6 事業の規模						
廃棄物処理量	10,444t					
売上高	442.8百万円					
床面積	1080.55㎡					
従業員	29名					
所有車輛 	8tコンテナ車	2台	6tプレス車	1台	営業車	2台
	4tコンテナ車	2台	3tプレス車	1台	パワーショベル	4台
	2tコンテナ車	1台	2tプレス車	1台	フォークリフト	5台
	2t車	2台				
工場設備	本社工場		第2工場		此花リサイクル工場	
		産廃	特管産廃	産廃	特管産廃	産廃
	保管面積	170㎡	10㎡	128㎡	13㎡	82.5㎡
	保管上限	109㎡	2㎡	67㎡	2㎡	2.5m × 1/2
	積み上げ高さ	2m	1m	2m	0.7m	103㎡
	保管・処理品目	次ページ許可取得一覧表ご参照ください				
	設備	150tプレス1基、75tプレス1基		30tトラックスケール		一軸破碎機
	天井式クレーン2基、切断機2台		天井式クレーン1基		4.7t/日	

8 収集運搬業許可取得一覧表

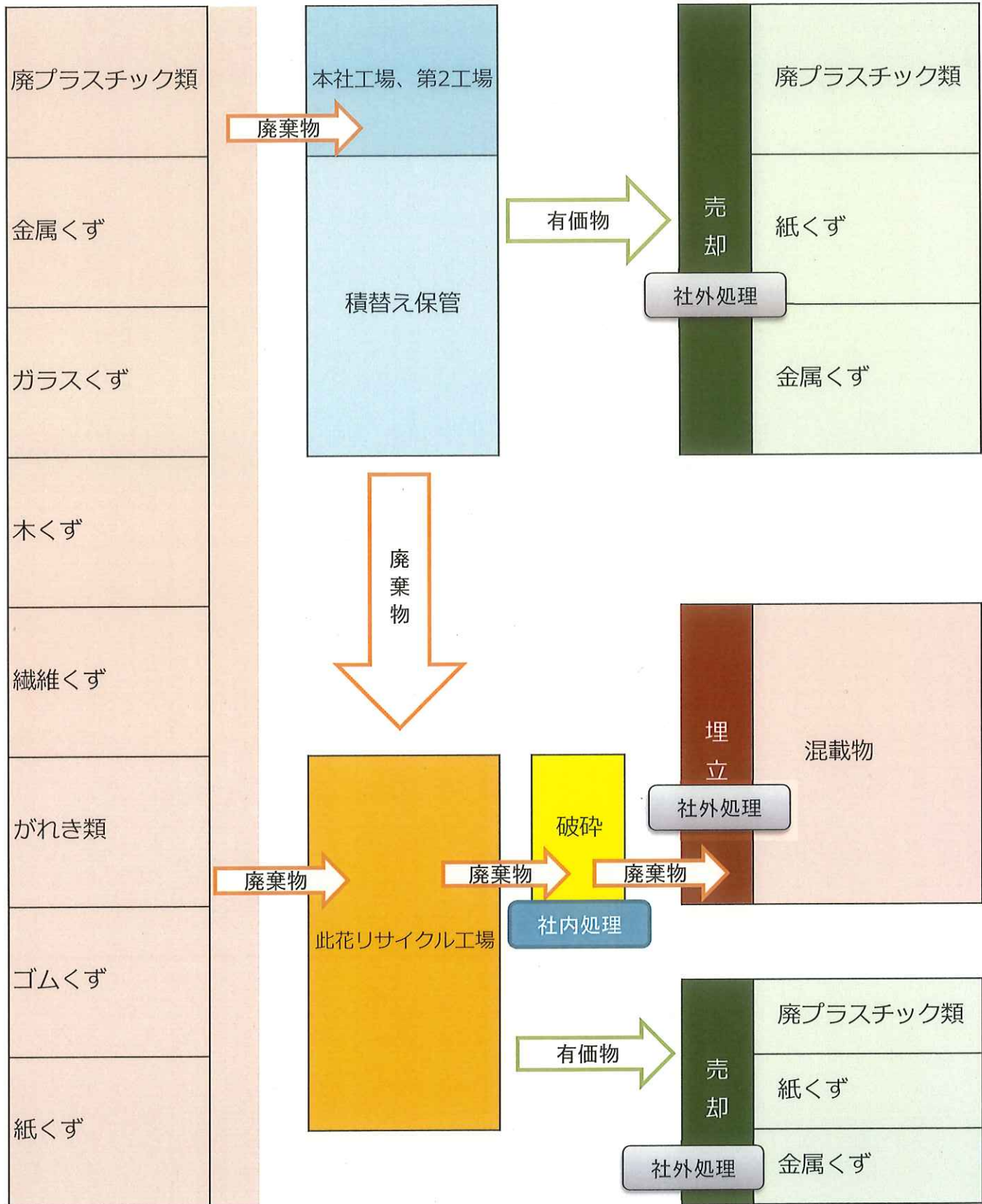
○:積替えなし、●:積替え含む

許可行政名	許可番号	許可年月日	許可期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉱さい	がれき類	特管廃油	特管廃酸	特管廃アルカリ	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物	
大阪府	2700043182	平成28年11月4日	令和5年11月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○					○	○
大阪府特管	2750043182	平成28年12月13日	令和5年12月12日															○	○	○			
大阪市	6610043182	平成28年11月1日	令和3年10月13日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●					●	●
大阪市特管	6660043182	平成27年5月14日	令和2年4月16日															●	●	●			
京都府	2600043182	平成31年1月22日	令和5年9月15日		○	○			○	○	○	○	○	○	○		○					○	○
兵庫県	2803043182	平成28年9月1日	令和5年8月31日		○	○			○	○	○	○	○	○	○		○					○	○
奈良県	2900043182	平成27年7月25日	令和2年7月24日		○	○			○	○	○	○	○	○	○		○					○	○
島根県	3200043182	平成27年7月16日	令和2年7月15日	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○

9 処分業許可

許可行政名	許可番号	許可年月日	許可期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉱さい	がれき類	特管廃油	特管廃酸	特管廃アルカリ		
大阪市	66200043182	平成27年9月11日	令和2年9月10日						○	○	○	○	○	○	○		○					

株式会社ジェイ・ポート 処理フロー図



環境実績と目標

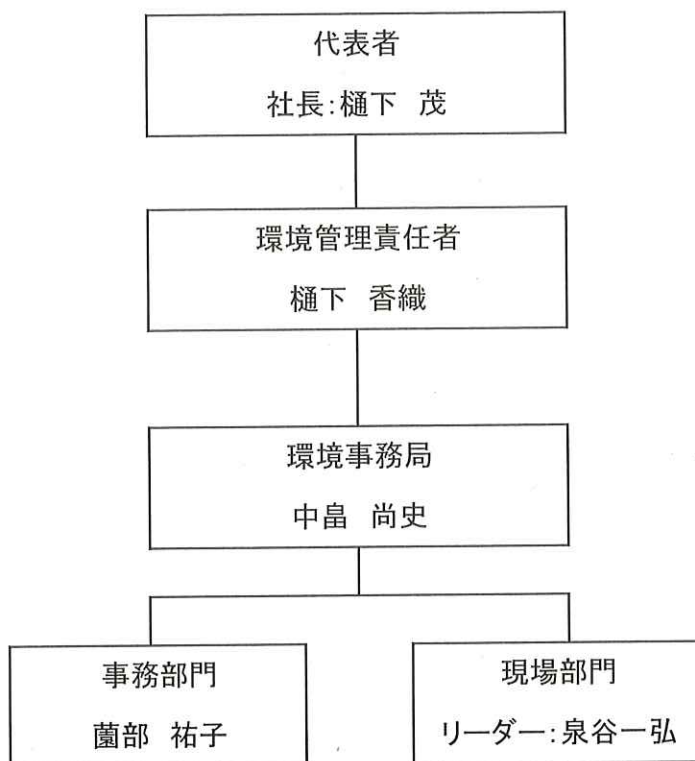
☆実績☆

	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成30年度実績
期間	平成25年10月	平成26年10月	平成27年10月	平成28年10月	平成29年10月	平成29年10月
	平成26年 9月	平成27年 9月	平成28年 9月	平成29年 9月	平成30年 9月	平成30年 9月
CO2排出 (kg-CO2)	148,654	124,892	142,091	158,449	前年比1%削減 156,865	164,299
電力消費量 (kWh)	45,304	46,454	42,580	61,431	前年比1%削減 60,817	64,901
軽油消費量 (ℓ)	39,443	31,875	38,334	45,958	前年比1%削減 45,498	46,819
水道使用量 (m ³)	454	547	512	658	前年比1%削減 645	664
廃棄物量 (t)	0.0740	0.0730	0.0720	0.0920	前年比1%削減 0.0911	0.0900
此花工場リサイクル率向上 (%)	-	-	-	78%	80%以上目標	72%

*平成26年度CO2排出係数 0.531kg-CO2/kWh

☆目標☆ 過年度実績の経過から翌年度以降の目標を定める

	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	平成33年度目標	平成34年度目標	平成35年度目標
期間	平成29年10月	平成30年10月	平成31年10月	平成32年10月	平成33年10月	平成34年10月
	平成30年 9月	平成31年 9月	平成32年 9月	平成33年 9月	平成34年 9月	平成35年 9月
CO2排出 (kg-CO2)	164,299	前年比1%削減 162,656	前年比1%削減 161,030	前年比1%削減 159,419	前年比1%削減 157,825	前年比1%削減 156,247
電力消費量 (kWh)	64,901	前年比0.5%削減 64,576	前年比0.5%削減 64,253	前年比0.5%削減 63,932	前年比0.5%削減 63,612	前年比0.5%削減 63,294
軽油消費量 (ℓ)	46,819	前年比1%削減 46,351	前年比1%削減 45,887	前年比1%削減 45,428	前年比1%削減 44,974	前年比1%削減 44,524
水道使用量 (m ³)	664	前年比1%削減 651	前年比1%削減 638	前年比1%削減 625	前年比1%削減 613	前年比1%削減 600
廃棄物量 (t)	0.0900	前年比0.5%削減 0.0896	前年比0.5%削減 0.0891	前年比0.5%削減 0.0887	前年比0.5%削減 0.0882	前年比0.5%削減 0.0878
此花工場リサイクル率向上 (%)	72%	80%以上目標	80%以上目標	80%以上目標	80%以上目標	80%以上目標



	主な役割・責任・権限
代表者 (社長)	環境方針の策定・見直し及び従業員への周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築・実施・管理 環境活動レポートの確認
環境事務局	環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境活動の実績集計 環境関連の外部コミュニケーション窓口 環境活動レポートの作成・公開
リーダー	自部門における環境経営システムの実施 自部門の問題点の発見・是正・予防措置の実施

環境関連法規等の遵守状況

法的義務を受ける主な関連法規は、以下の通りです。




適用される法規	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物、特別管理産業廃棄物、中間処分
自動車NOx・PM法	ディーゼル車
大阪府生活環境の保全に関する条例	環境保全
大阪市環境基本条例	環境保全
家電リサイクル法	テレビ、エアコン、洗濯機、冷蔵庫
消防法	工場、事務所の防火
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器
PRTR法	廃油(シンナー)
騒音・振動規制法	此花工場の破碎機は、90kwである。工業専用地域であるから騒音規制は対象外。

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、逸脱行為はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

環境目標とその実績と評価

環境目標	CO2排出量削減	前年度:平成28年10月～平成29年9月
目標数値	前年比1%削減	実績:平成29年10月～平成30年9月
前年度数値	158,449kg-CO2	
実績	164,299kg-CO2	
評価	前年比+3%	評価: ◎→完全達成 △→改善の余地あり ○→良好 ×→未達成
×		*平成26年度CO2排出係数 0.531kg-CO2/kWh
比較	前年度数値	平成30年度実績
売上	343百万円	442.8百万円 前年比+29%
運搬量	9,456t	10,444t 前年比+10%
環境目標	電力消費量削減	活動項目と取組評価
目標数値	前年比1%削減	エアコンの温度管理の徹底(夏:28℃、冬:20度) ◎
前年度数値	61,431kwh	不在の部屋の消灯徹底 ◎
実績	64,901kwh	電気ポット(保温)は日中のみ使用 ◎
評価	前年比+5%	
×	此花工場を追加したため。	次年度も引き続き節電を呼びかける
環境目標	軽油消費量削減	活動項目と取組評価
目標数値	前年比1%削減	エコドライブの徹底 ◎
前年度数値	45,957ℓ	合理的な収集経路 ◎
実績	46,819ℓ	車両点検の徹底 ◎
評価	前年比+1%	
×	搬出回数が増えた	次年度も引き続きアイドリングストップなどエコドライブを呼びかける
環境目標	水道使用量削減	活動項目と取組評価
目標数値	前年比1%削減	散水時の節水 ○
前年度数値	658m ³	洗車時の節水 ○
実績	664m ³	トイレの二度流しの禁止 ○
評価	前年比+0.09%	
×	防塵のため、水を使用している	次年度も引き続き節水を呼びかける
環境目標	本社事務所廃棄物排出量削減	活動項目と取組評価
目標数値	前年比1.5%削減	資源ごみの徹底分別 ◎
前年度数値	92kg	ストックを少なくし、必要な時に購入 ◎
実績	90kg	長く使用できるものを選択し、購入 ◎
評価	前年比-3%	
◎	人数が増えたが、引き続き分別は進めている	次年度も引き続き分別を呼びかける
環境目標	此花リサイクル工場リサイクル率の向上	活動項目と取組評価
目標数値	80%以上	資源ごみの収集量の確保 ◎
前年度数値	78%	資源ごみの効率的な選別 ◎
実績	72%	リサイクル品の販路拡大 ◎
評価		
×	一軸破碎機を導入して、リサイクル運用を開始したばかりであるが、工場での効率の良い作業法について試行錯誤しながら最適な方法を見つけてリサイクル率及びリサイクル量の拡大に次年度も更に努め	

社内での啓蒙・環境活動		
グリーン購入の促進	事務消耗品を選ぶ際には、グリーンマークを参考	◎
社内の省資源化 	節水・節電等のステッカーの貼り付け	◎
	エコドライブの方法を講習およびパンフレット掲示	◎
	車輛点検を徹底	◎
	専門家による講習を開催	
環境に関する 社員研修 	中間処理・最終処分先の見学会に参加	◎
	社長自らが個々に時間を取り、意見を交換を行う	◎
	社員全員、廃棄物管理士の資格を取得	◎
	社内で産廃と環境について勉強会を開催し話し合う時間を作る	◎
社外への情報提供		
ウェブサイトで情報公開 (自社ホームページや産廃ネットのサイトを活用)	運搬量を把握しウェブにて公開	◎
	環境活動レポート作成し、ウェブ等で公開	◎
来客への情報提供	受付に環境レポートや新しい情報等の掲示	◎
排出事業者への情報提供	中間処理・最終処分先の見学会を開催	◎
	自社で広報誌を定期的に発行し情報を提供する	◎
地域とのコミュニケーション		
事業所周辺の清掃	週6回	◎
ライフキャップ運動を広める	学校などに回収用に袋を預けキャップがたまると収集する	◎
代表者による全体の評価と見直しの結果		
<p>本年度は廃棄物取扱量が、昨年と比較すると10%増加したところ、それに伴い、電気、燃料など増えてしまいました</p> <p>取扱量が増えることは、ありがたいことですので、「増えたから増える」ではなく、環境企業として、また、エコアクションの認定をもらっている企業として、</p> <p>自覚し、社内で工夫をこらし、限りある資源を有効に利用させてもらいたいと考えています</p> <p>最近、無駄なものを社員から吸い上げる仕組みを作りました</p> <p>これにより社員の「無駄」に関する意識も高めていきたいです</p> <p>目標数値を達成することは叶いませんでしたが、今後も環境に携わる企業として、引き続き我々がやっていることも含め、お客様また地域の方々に環境啓蒙活動を続けていく所存でございます</p> <p>株式会社 ジェイ・ポート 代表取締役 樋下 茂</p> 		

平成30年度EA21関連記録

スケジュールと その実施チェック		毎月	6ヶ月毎	年毎
1ヶ月目	10月	①朝礼・会議での社員教育 ②燃料使用量・電気・水・廃棄物 部門毎の確認		③年度スケジュールの作成
2ヶ月目	11月	①朝礼・会議での社員教育 ②燃料使用量・電気・水・廃棄物 部門毎の確認		
3ヶ月目	12月	①朝礼・会議での社員教育 ②燃料使用量・電気・水・廃棄物 部門毎の確認	③環境会議 (社内幹部) 下半期見直し	
4ヶ月目	1月	①朝礼・会議での社員教育 ②燃料使用量・電気・水・廃棄物 部門毎の確認		④活動レポート作成 ⑤年間見直し
5ヶ月目	2月	①朝礼・会議での社員教育 ②燃料使用量・電気・水・廃棄物 部門毎の確認		③危機対応訓練 ④活動レポートの配信・公表
6ヶ月目	3月	①朝礼・会議での社員教育 ②燃料使用量・電気・水・廃棄物 部門毎の確認		
7ヶ月目	4月	①朝礼・会議での社員教育 ②燃料使用量・電気・水・廃棄物 部門毎の確認		③法令に関するチェック
8ヶ月目	5月	①朝礼・会議での社員教育 ②燃料使用量・電気・水・廃棄物 部門毎の確認		
9ヶ月目	6月	①朝礼・会議での社員教育 ②燃料使用量・電気・水・廃棄物 部門毎の確認	③環境会議 (社内幹部) 上半期見直し	
10ヶ月目	7月	①朝礼・会議での社員教育 ②燃料使用量・電気・水・廃棄物 部門毎の確認		③危機対応訓練
11ヶ月目	8月	①朝礼・会議での社員教育 ②燃料使用量・電気・水・廃棄物 部門毎の確認		
12ヶ月目	9月	①朝礼・会議での社員教育 ②燃料使用量・電気・水・廃棄物 部門毎の確認		